

奥州遺産

No.46

ときを越え
受け継がれるもの

黒滝溪谷

〓 二又岳国有林（衣川区） 〓

黒滝温泉“のぞみの湯”から山手に市道を2^{キロ}ほど進み、分かれ道から南股川に沿って、さらに林道を4^{キロ}ほど進むと黒滝がある。

南股川は、山里に清らかな山水を送る衣川の支流。岩山特有の溪谷を形成する上流は、ブナを主体とした原生林に覆われ、いくつかの滝が存在する。中でも黒滝は、両岸15^{メートル}ほどの岩盤に挟まれ、切り立った岩の間から流れ落ちる滝の勢いは壮観。深い滝壺に、大粒の水しぶきが舞い立つ。

平成20年6月14日に発生した岩手宮城内陸地震の影響で、滝壺直下の岩が崩れ、その形状に変化を及ぼした。しかし、滝の勢いは以前と変わらない。初夏を迎え、青々と生い茂る木々の緑と黒い岩肌に舞い上がる白い水しぶき。そのコントラストは、見る者を魅了する。豊かな山水を送ってきた黒滝は、今後も絶えず地域を潤し続ける。

広告



1 5^{メートル}ほどの落差がある黒滝。水しぶきを上げながら勢いよく滝壺に水を打ち付ける

2 黒滝溪谷へ通じる林道の手前にある黒滝温泉“のぞみの湯”。ラドン含有量が豊富で、美肌効果があるといわれる温泉

